



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

## よいことのために手を取りあおう Unite for Good

RI会長 フランチェスコ・アレツツオ

第2570地区ガバナー 坂口 孝  
第3グループ  
ガバナー補佐 高橋 和男

クラブ強化と活性化のために行動してください!

### 第3182例会 2025.8.6

——会員増強推進月間——

天候 雨 (NO.62-06)

会長 中里忠夫 幹事 都築敏夫

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 安藤君、天ヶ瀬君

例会場: ホテル・ヘリティージ飯能sta.

☎ (042) 975-1313 〒357-0038 飯能市仲町11-21

事務局: 飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7

☎ (042) 973-1661 FAX (042) 973-1662

<http://www.hanno-rc.org/>

E-mail hannorc@hanno.jp

- 点鐘 中里忠夫会長
- 黙祷 広島原爆の日
- ソング 君が代 奉仕の理想
- 四つのテスト齊唱 吉田(行)職業奉仕委員長
- ビジター 2021-2022年度  
国際ロータリー第2570地区ガバナー  
水村雅啓様(入間RC)
- 卓話 水村雅啓様(入間RC)

#### 【会長報告】

本日、第3回理事会が開催、全ての議案が了承されました。先日は市川会長エレクトと地区「クラブ行動計画推進セミナー」に参加。いろいろな気づきもあり参考になりました。また頑張っていきたいと思います。久しぶりに女性会員の入会紹介書が提出されました。ご確認をよろしくお願ひ致します。

#### 【幹事報告】

令和5年7月7日に逝去された故・大野正幸様のご遺族(妹様)より60周年記念誌に対する丁重なる御札状を頂きました。代読致します(内容省略)。またニコニコBOXにご寄付頂きました。ガバナー公式訪問の進行表、スケジュール、写真配置図を配付。当日は制服着用、ネクタイは60周年で配付した青色のもの。11時50分より入会3年未満の会員とのガバナー懇談会。14時よりクラブ協議会。5委員会の委員長、発表をお願いします。写真配置図に氏名記載のある方は指定された位置に、記載の無い方は自由にお並びください。今年度地区補助金申請は1,200ドル(178,800円)が承認。10月6日(月)地区大会記念ゴルフコンペ「ボリオ撲滅希望の風チャリティーゴルフ」鳩山CC。参加希望の方は幹事までご連絡ください。8月のRIレート1ドル149円。8月13日は例会取消。8月20日は高橋ガバナー補佐訪問例会です。

#### 【委員会報告】

◎親睦活動委員会 鈴木(勝)君  
10月14日(火)「日高RCチャリティーゴルフ大会」  
高麗川CC。参加希望の方はお申し出ください。

#### ◎高橋 弘会員よりご挨拶

私事で恐縮でございます。過日ご報告させて頂きました藍綬褒章受賞に関しまして、10月19日(日)叙勲祝賀会を開催させて頂く運びとなりました。発起人代表を沢辺先生に、木川先生、私の会長年度以降の各パスト会長:矢島(高)、馬場、森会員、ヘリティージの坂本社長に発起人をお務め頂いております。どうぞよろしくお願い致します。

#### 【出席報告】無届欠席0 大野(泰)出席向上委員長

| 会員数 |    | 当日  |        |
|-----|----|-----|--------|
| 全数  | 対象 | 出席数 | 出席率    |
| 68名 | 4名 | 59名 | 86.76% |

#### 【M U】

8月3日(地区) 中里(忠)君、市川君

#### 【結婚・誕生日祝】

岩泉親睦活動委員

◇入会記念日おめでとう  
大木君、増島君、田辺君、小川君、土屋君  
吉田(行)君、吉澤君、中里(忠)君、大崎君  
加藤君、鎌田君、福地君

#### ◇結婚記念日おめでとう

山口君、小崎君  
◇会員誕生日おめでとう  
吉澤君、天ヶ瀬君、高橋君、井上君  
◇夫人誕生日おめでとう  
山口夫人、市川夫人、中里(忠)夫人  
大野(康)夫人、山川夫人

#### 【S A A 報告】

## ◎ニコニコBOX

- ・水村パストガバナーようこそ。本日は卓話よろしくお願いします。 矢島(巖)君、中里(昌)君  
新井君、吉島君、高橋君、服部君、都築君  
神田君、前島君、伊澤君
- ・長く休ませて頂き申し訳ありませんでした。7月末に全快となりましたので、またよろしくお願ひします。 島田君
- ・8月1日にムーミンバレーパーク、宮沢湖の上に遊び場を作りオープンしました。皆様一度ご視察ください。 望月君
- ・入会記念日： 細田(伴)君、中川君、本橋君  
田辺君、土屋君、小川君、吉澤君、福地君  
加藤君、吉田(行)君、中里(忠)君、鎌田君
- ・会員誕生日： 田辺君、都築君、安藤君、川口君  
高橋君、吉澤君、井上君、秦君
- ・結婚記念日： 鈴木(康)君
- ・夫人誕生日： 都築君、安藤君、中里(昌)君  
山川君、大野(康)君、中里(忠)君
- ・早退：皆川君(7/2)、小川君(7/23)、吉田(武)君  
本日計89,000円、累計額182,000円。

◎20日例会当番は馬場、新井会員です。

## 【卓 話】

### 講師紹介

中里会長

(有)エム・ハウジング代表取締役。入間市文化創造アトリエ館長。NPO法人入間市文化創造ネットワーク代表理事。RC歴はH5年、入間RC入会。H18年～19年、入間RC会長。R元年～2年、ガバナー・ミニー。R2年～3年、ガバナーエレクト。そして2021～2022年度ガバナーを務められました。R5年～6年、地区戦略計画委員長。現在、地区ラーニングファシリテーターを務めておられます。

## 地区の現状と元気なクラブづくり

2021-2022年度国際ロータリー第2570地区ガバナー  
2025-2026年度国際ロータリー第2570地区ファシリテーター

水村 雅啓(まさひろ)様 (入間RC)

3年前にガバナーを務めさせて頂きました。第3グループからは久しぶりのガバナーだということで緊張しましたけれども、コロナ禍の中でしたが皆様のお蔭で無事に過ごさせて頂きました。飯能は入間と隣同士で知り合いがたくさん居り、RCでも大先輩の方ばかり。ここに入った瞬間から頭をぺこぺこ下げながら居たという状態です。それ以外にもJCの後半の頃一緒だった仲間や織物をやっていましたので織物関係の方々、大学の先輩も結構居りまして、非常に怖いところだなと思いつつやって参りました。

今の私の役目は「ラーニングファシリテーター」、昔の「研修リーダー」ということになります。皆さんに地区の情報を教えたり、皆で元気なクラブをつくるためにはどうしたらいいかということの研修をするのが大きな役目です。そんな意味で、今回は「元気なクラブづくり」ということで、さまざまなクラブを回ってお話をさせて頂いております。

飯能さんはもうすでに「元気なクラブ」なのではないかということで、こういうテーマで話をするのも如何なものかと思ったのですが、実はつい1週間前川越RCに行きました。今月100人を超えて非常に活発なクラブなのですが、ただ一つ出席率が60%に行くか行かないかというようなところで、それが危惧されています。ここでは、会員一人一人がクラブと地域社会に貢献しているという実感をもっても



らえる、そんな元気なクラブをつくるために、ということでお話をさせて頂きます。

その前に地区の現状についてお話をします。会員数の推移をきちんと把握して頂きたい。28年前が日本で会員数が一番多く、13万人でした。私達の地区は2,880人。8年後、10万3千人。地区は2,123人。たった8年で日本

は20%以上減少、地区は26%減少しました。こんな勢いで落ち込んでいるのですね。それから20年、昨年の夏、日本は8万3千人、地区は1,570人になりました。20年間で日本は19.5%減少、我が地区は26%減少。2,800人から1,500人、半分近くになっている。この現状を踏まえて頂きたい。この30年って何だったのだろうということですが、何と言ってもバブルが崩壊して、1990年代後半、北海道拓殖銀行、山一証券の破綻等が記憶にあると思うのですが日本経済が破綻し始めます。奈落の底に落ちていくのをこの10年間で経験したわけです。それから次の20年、今度は災害が多発する。子どもは少なくなる、高齢化は進むということで、よく言う「失われた30年」、これをRCの会員数に当てはめると、全くその通りに動いていることが数字に表れています。うちの地区だけを詳しく見ると、1995年、ピークの頃は2,890人。その後8年位で一気に落ちている。2007～2008年には2,000人を割って1,900人。それから、だらだらと20年間のうちに1,571人になっていました。

クラブの数も大切だと思うのですね。1995年の頃には54クラブだったのが55、56と増えていくのです。会員数は減っているのにRIが「拡大、拡大」と言うのでクラブ数はかなり増えてきました。ところが2000年を過ぎた頃から55、54、53と減って昨年末は46。今年7月、年度スタート時には44クラブと、ここ2、3年、凄い勢いで減ってきました。

どんなクラブが無くなつたか覚えていますか。我々に近い所は比較的少なかったのですが、最初は第2グループの「朝霞キャロット」10人。「2570パスポート」ガバナーが居たにもかかわらず、最後2人だけのクラブになつてしましました。第3グループの「所沢中央」18人も居たのですが解散しました。第5グループの「川本」「児玉」2人。「熊谷東」16人。2人とか6人とかだと団体の体を成さないということで終結しましたけれども、10人を超えるクラブが解散、終結する事態というのはどういうことなのか。これには2通りあります、1つは高齢者だけのクラブになつてしまつて若い人を入れる術がないという状態。「熊谷東」「朝霞キャロット」等がそうでした。「所沢中央」はそれとは違うのです。若い人が居るにもかかわらず18人で辞めていこうという話になつてしまいました。何度も行って「何とかならないか」と話をしたのですが氣力がもう無くなつっていました。「所沢中央」と「新所沢」は仲が良くていつも合同例会をしているような関係だったのですが、合併話があり、それが壊れたのですね。それから一気に気持ちが萎えてきて、やる気が無いよということで、どう説得しても復活出来ず、この中の会員達もほぼ全てロータリアンではなくつてしましました。「是非ほかのクラブに入ってください。所沢RCとか新所沢RCとか」と言ったのですが叶いませんでした。これがこの地区的現状です。

飯能さんはたくさん居られて、地区がこの状態だというのは気がつかないと思うのです。是非これを

把握して頂いて地区全体がパワーアップ出来るような、そんな力を飯能さんから頂きたいと思います。

日本全体を見た時に、会員数の少ない地区はどこか。一番少ないので青森です。1,125人、40クラブ。続いて秋田は1,130人、40クラブ。3番目が山形1,500人。4番目が大阪南部1,500人。5番目がこの地区なのです。1,578人。2番と3番の数が離れているのは何故かと言うと、1,100人を割ったら境界線を変更する、簡単に言うと単独で地区がつくれないのでどこかの地区と合併しなさいという話なのです。実はもう1,100人を割ってしまって行ったり来たりしているのです。R Iから「もうダメだよ」という勧告をされているのですが1,100人をキープするために必死に今、頑張っているのです。そういうのは嫌ですが、我々1,500人も今の右肩下がりの流れで見ていったら数年後にはこういう状況になりかねないということです。では我々は何処と一緒になるかという話が時々出てくるのです。さいたま市を中心とした2770地区とはうちの方から分かれたので、そことまた一緒になるのは嫌だという人が居て、だったら群馬と一緒にになった方がいいとか。笑い話では済まないので、何とかもっと人数を増やさなければいけないという話が出ています。

逆に、4,000人を超える地区が日本には3つあります。東京の北部、名古屋、京都・滋賀。今度は5,400人を超えると1つの地区ではダメで、分かれて半分にしなさいとなるのです。そして100クラブが出来てしまうとこれも分割しましょうとなります。東京の北の方は人数がどんどん増えてきているのですが2つに分かれるのが嫌で、今、会員選考を厳しくしているのです。同じ日本に居ながら「誰でもいいから入ってくれ」みたいな所と、会員選考がきちっとしてなかなか入れない所とある。都内でロータリアンと言うと信用度合いが素晴らしい高いのです。いろんな人が来ている東京でロータリアンというだけで仕事面だけでなく人間の信用性が高くなる。だから入りたくてしょうがない人がたくさん居るのです。それを今、選考をかなり厳しくしてセーブしている。そんな所もあるのです。日本全体の状況を頭に入れて、それから話を進めたいと思います。

改めて、あなたのクラブは元気ですか？ 飯能RCは元気ですか？ 楽しく、活気に満ちていますか？ ご自分は楽しいですか？ 楽しい経験をたくさんもっていますか？

もう一度、自分のクラブについて考えてみましょうということで、2019年に全国のロータリアンにアンケートをとったグラフを見てください。

「クラブの活動に対する参加の度合い」というところで「活動したくて積極的に参加しています」と答えたのは「親睦活動」「例会」が一番多い。やはり例会が重要なのですね。親睦活動にも出ています。もう一つは「委員会の活動」に出ています。

「あなた自身にとってRCの価値は何ですか？」。これはとても重要な点だと思うのですが「自己研鑽」と「社会貢献」と答えているのですね。これにRCの価値があると。もっと「友達をつくりたいんだよ」とか「商売でいいことあつたらいいな」とかそんなことの方が多いかと思いました。「自己研鑽」と「社会貢献」。何て真面目な方がロータリアンには多いのだろうと本当に思いました。

この2つをまとめてみると、会員にとっての魅力と価値というのは、まずは「例会」そして「親睦活動」。そして「自己研鑽」と「社会貢献」、この4つがうまく連携して、その中で楽しい経験を皆がもつて、そのサイクルが機能していれば、それこそ元気なクラブ、魅力あるクラブだということです。

このサイクルが飯能RCでは機能していますか？ これが一番大切だと思っています。

改めて、あなたのクラブは元気ですか？

変化の多い時代だからこそ例会を充実させ、RCが人をつくり、世の中の役に立つという「原点回帰」を強く推進しなければならないと考えています。それは、RCの哲学を学び、それを日々に実践すること。そして、楽しいという実感をたくさんつくること。特に会長はこうした経験をクラブ運営に生かして次世代に継承していくことが重要な役割だと思っています。中里会長よろしくお願ひ致します。

「うちのクラブはいいクラブだぜ」とよく言いますけれども、そういう「いいクラブ」から一步先へ出ましょう。そのためには今言った4つをもう一度考

え直して、学び直すということが重要なではないでしょうか。

私はその中でも特に「自己研鑽」という部分について、意外に各クラブの中で見過ごされていました。あるいは例会でも時間をとって学ぶことが少なくなっているのではないかなど思っています。「自己研鑽」という言葉、「RCの哲学」という言葉で、皆さんはどうなものを見いだしますでしょうか。

やはり何と言っても「奉仕の理想」という言葉ではないでしょうか。他人のことを思いやって他人のために尽くす。これはRCにとって一番大切なことです。そして、よく言われる2つのモットー「超我の奉仕」「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」。これは公式的なRCのモットーです。「超我の奉仕」は人生の哲学、自分よりももっと人のために奉仕をすることを説いています。そして「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というのは実践です。奉仕活動をしましょうということです。この2つがRCにとってとても大切な標語となっています。

私がガバナーをやらせて頂いた時、メータという方がR I会長でした。その時、彼は「奉仕は、誰かの人生だけでなく、自分の人生も豊かにします」と話されました。私の時はZOOMでやっていましたので画面と向き合っているとR I会長のメータさんが私だけに話しているような感じになってきちゃうんですね。ガバナー時代の自己研鑽は直接的に指導を受けたような気がして、こういった言葉一つ一つがかなり自分のからだの中に沁み込んでいます。やはり「人のために何かしてあげようよ」というのは、その人だけではなく絶対自分の人生にもいい影響があり豊かになってくることがあるんだということを是非皆さんも体験して頂きたいなと思います。

そして、寛容の精神。これも非常に重要なことなのですね。「RCは友情という礎石の上に建てられており、寛容の精神で団結しています」。ポール・ハリスの言葉です。やはり何人か集まると必ず「そうじゃない。オレが正しいんだ」というのが出てくる。その時、どこかで落としどころをつける。それが重要なのだということをハリスは特に身をもって体験しているので、こういう言葉が出たのだと思います。

今日、皆で歌いました。ハーバート・ティラーの「四つのテスト」。これはRCの倫理基準として非常に重要ですけれども、当初は職業人としてのロータリアンの心構えということでした。H・ティラーが自分の預かっている、倒産しかかっている会社を4、5年で回復させた時、従業員に与えた言葉で、これで皆でまとまっていこうと話しました。それがRCに繋がってきたということですね。

「入りて学び、出でて奉仕せよ」。これはR I会長の言葉です。毎年1、2月に行われるガバナーの研修会「国際協議会」、私は行けなかったのですけれども、その入り口にこれが書いてあるということです。

最近は違う言葉に変わったらしいのですけれども。やはりRCに入ったら学ばなければいけない、学ぶことがまず一番。それを学んだら今度は社会に出て奉仕しよう。こういうことを我々は哲学として学んでいく必要があるのではないか。日本人では米山梅吉が「ロータリーは人生の修養の場である」と述べています。こういう含蓄のある言葉を、どこか例会の中だけでなく結構ですから、クラブ協議会であるとか家庭集会で学ぶ場を作つて頂ければ嬉しいなと思います。

では、どんな学ぶ機会があるかと言いますと、実は地区でいろいろなセミナーをやつていて、そのセミナーに出てもらうのもとても嬉しいなと思うのです。ラーニング委員会では今年、5年未満の新会員の皆さんにセミナーをやろうと思っています。まずは「ロータリーって何?」というのを半日がかりでさーっと教えましょうということで計画を立てています。9月14日、20日。第1~第3グループは20日(土)「ウェスタ川越」です。飯能クラブさんでも5年未満の方、あるいは10年、20年でもまだ勉強不足だという方が居たら来て頂いて構いませんので、是非申し込んで参加して頂ければと思います。こんなようなことをやっていますので、そんな中で学んで頂きたいなと思います。

それから、是非例会は活用してください。私も今日ここで話をしていますけれども、地区の委員を呼ぶとか、あるいは、もう一つ大切なのは「ロータリーの友」の解説です。例会でこれをやつていないクラブが結構あるのですね。「ロータリーの友」の解説はきちんとやって頂きたい。先程お話しましたがアンケートの中で「一番の情報源は何か?」といった時に「ロータリーの友」と答えたのが一番多いのです。是非その解説をお願いしたいと思います。

あと、「クラブ協議会」を使って是非学んで頂きたい。「クラブ協議会」はクラブの活動や研修について協議するところと定義されていますけれども、幅広いですので、その中で何をやるか。その中でこうした哲学を学んでみたいという人も居ると思います。是非活用してやって頂きたいと思います。

もう一つ、「CLP(クラブ・リーダーシップ・プラン)」。2004年、20年も前にRIが決定して「皆さんやってください」と言ったのですがほとんどやっていませんでした。最近やり始めまして、どういうふうにしたかと言うと、地区が「組織図」を変更し始めたのです。「組織図」に合わせた委員決議をすることがCLPではないかと考えている人がたくさんいるのです。例えば昔だったら5大奉仕がそのまま委員会でしたけれども、最近はみんなまとめて「奉仕プロジェクト」という委員会になりました。一番大きい委員会です。そして「会員増強」「公共イメージ」「青少年プログラム」「ロータリー財団」「ロータリー米山記念奨学」ということになっています。

組織だけではないのです。「元気なクラブをつくるために一番簡単な方法は何?」と言った時に、それが「CLP」とすることなのです。そのためには活動の計画が大切です。活動計画の指標は「①増強していきましょう」「②良い奉仕プロジェクトをしましょう」、絶対に必要な「③財団に寄付してください」。それから、先程「所沢中央」等、やり手が居なくてクラブを解散したと言いましたが、まさにそれです。「④クラブの新しい指導者、リーダーをどんどんつくつていってください」。この4つを目指してやるのがCLPなのです。

そのための実行策はどうしたらいいのか?と言えば「クラブ戦略計画」です。RIはこういう難しい言葉を使うのが好きですが、単純に言えば「来年再来

年、うちのクラブをどういうふうにやっていくかを皆で話し合つてください。それを表に落とし込んでください」ということです。そして、それを固定概念で固めるのではなく「毎年見直しをしていくください」「ロータリーセントラルというところに入力、書き込みをしてください」ということなのです。

中里会長に「ちゃんと書き込んでくださいね」とお話をしました。簡単に出来ます。今、中里会長がRIに手続きをしていますので、是非その計画が打ち込められるようにして頂きたいと思います。

それから、「行動計画推進リーダー」をクラブに置いてくださいとお願ひしているのですが、飯能さんには居ないですね。「計画が出来ていますか?出来ていないからやりましょうね」と言う人を置いてくださいと言っているのです。居なくてもいいと思いますが、これは会長が責任をもつて負っていくというような形がいいのではないかと思います。

そして、委員会と組織構成とクラブ細則を変更しています。先程も言いましたが、地区の組織図は「会員増強」「公共イメージ」「奉仕プロジェクト」「青少年プログラム」「ロータリー財団」「ロータリー米山記念奨学」の委員会。これをもっとくっつけて「奉仕プロジェクト」の中に「青少年プログラム」も入れたいくらいです。昔は5大奉仕でそれぞれ委員会をつくっていましたが今は全然ありません。社会奉仕はどこ? 職業奉仕はどうしちゃったの?と言いますが、「奉仕プロジェクト委員会」の中にみんなまとめてくださいということです。地区内には10人程の会員数のクラブが今たくさんあります。そういうところは今年度は社会奉仕を頑張ろう、職業奉仕はちょっと休んでおこうということでもいいのではないか。ただ、職業奉仕は基本中の基本だと思うのでこれは「奉仕プロジェクト」ではなく、もっと上の、例えば「戦略計画」の中に入れ込みながらやっていくとか、いろんな方法はあると思います。状況に合わせて組織も変更していくくださいということです。飯能さんはこれに基づいているようですね。

クラブ細則の変更をやっていますか。RIから来ている見本のような細則ではなく、自分のクラブに合った細則に変更していく。3年に1度「規定審議会」でも変更が行われますから、そこがちゃんと変更してあるか確認する。そういうことをやっていくことが活気あるクラブづくりの一つになります。

入間RCでは私も委員になって10回位、細則変更に携わりました。昔の言葉で難しいようなことが書いてあったのを自分のクラブに合った、分かり易い文言に直し、新しい会員にも分かるようにする。是非そんな見直しもして頂ければと思います。

最後になりますが、例会、親睦、自己研鑽、社会貢献…こうしたRCの魅力と価値を、きちんと、サイクルを見守って、CLPを実行して、世の中の役に立つ、そして楽しいという実感をもつようなクラブづくりをして頂ければと思います。

こうすると自然に増強できるんですね…な~んて簡単なことを言って出来なかつたら怒られるのですけれども、増強し易いクラブは出来るだろうということです。

最後にRCの目的を皆さんで確認し合いましょう。

私達ロータリアンは知り合いを広め職業人として高い倫理基準を保ち、その職業を通じて社会に貢献する。人や社会のためになる奉仕の理念を実践し、ロータリーの世界的ネットワークを使って国際理解、親善、平和を推進する。

全てを取り込んだ短い文言ですけれども、たまには見つめ直してやっていけたらいいなと思います。

皆さんで元気なクラブをつくりていきましょう。